

強くしなやかな 組織を築く。

新しい環境、変化、多様な状況に対して、
しなやかに対応できる力を持った
持続可能な組織の構築に努めます。

マテリアリティ

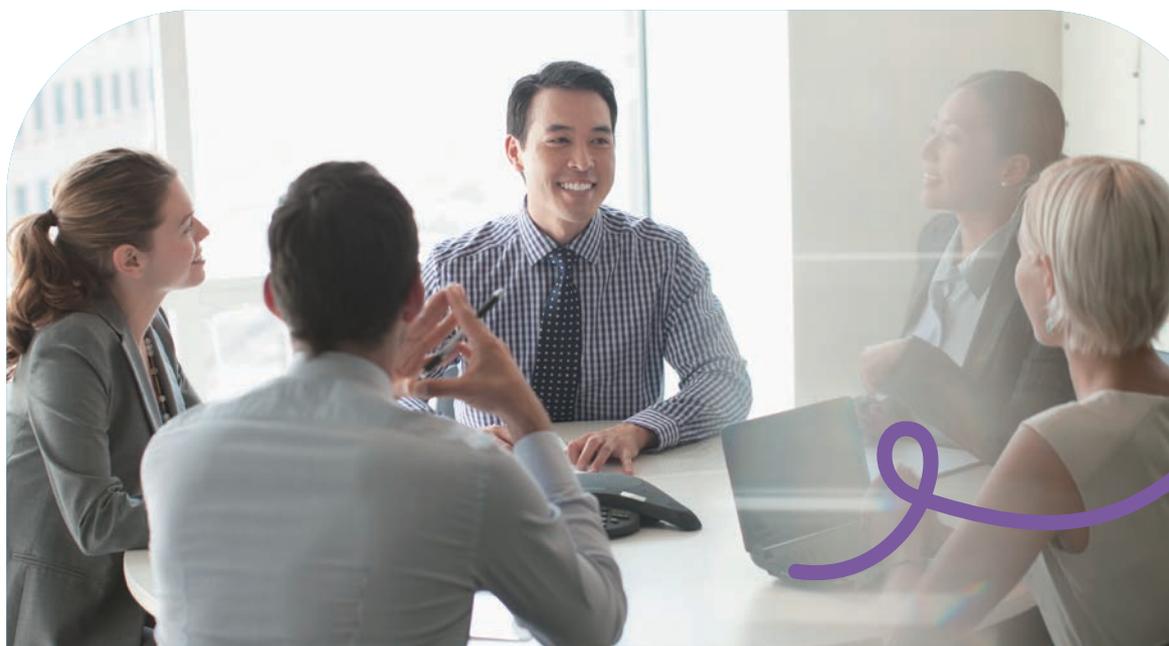
持続可能な調達の追求 **P.53**

災害に強いインフラの構築 **P.54**

関連するSDGs



» Build a Strong and Resilient
Organization





プラスグループの目指す姿

働く人に満足を。

社会に満足を。

地球環境に満足を。

強くしなやかな組織を築く。

コーポレート・ガバナンス／
会社情報

“ Highlights in 2024 ”

2024年の主なトピックス

プラスグループ 人権方針策定

2025年3月
プラスグループ人権方針を
策定しました。

» P.57

災害・防疫協定の締結

全国28件

2024年度、プラス株式会社 ジョイントテックス
カンパニーでは全国で22件の災害・防疫
協定を締結しています。

» P.54

国産木材 活用による 森林の健全化

プラス株式会社 ファニチャー
カンパニーでは、「早生樹センダン
記念植樹祭」に3年連続参加しています。

» P.53

強くしなやかな組織を築く。

持続可能な調達の実現

原料・資材・商品などの調達において、これまで重視してきた品質・安全性の確保、適正な価格、安定供給に加え、お取引先様とともに人権・労働・安全衛生への配慮、地球環境の保全、公平・公正な取引に取り組めます。お取引先様との信頼関係をさらに発展させ、持続可能な調達活動への責務を果たします。



天然木・国産木材の活用による環境への貢献

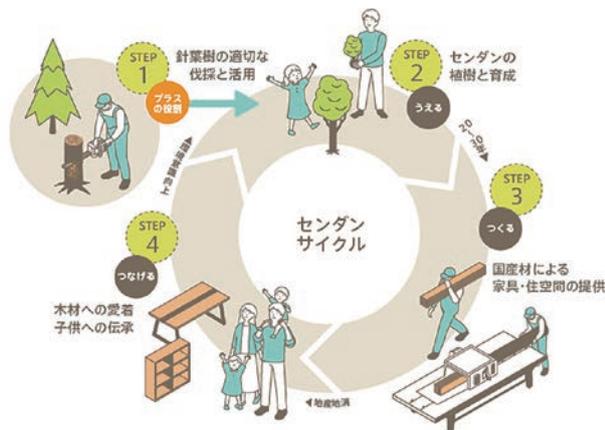
木材循環システムの構築を目指し「センダンサイクル」へ参画

2022年1月、プラス株式会社 ファニチャーカンパニーは、国産木材の積極活用で森林の健全化およびカーボンニュートラルの実現を目指すプロジェクト「MOKURAL(モクラル)」(→P.49)を立ち上げました。

さらに、2022年より協同組合福岡・大川家具工業会地域材開発部会が主催する「センダンサイクル」に参画しています。

国産早生広葉樹であるセンダンは、スギやヒノキなどの針葉樹に比べて成長速度が早く、CO₂吸収能力は一般的な広葉樹と

比較して約3倍高いといわれています。「センダンサイクル」ではその特長を活かし、放置針葉樹を適切に伐採・活用し、そこへセンダンを植樹していくことで、山・森林が健全な状態を保ち続ける木材循環を構築することを目指しています。当社は本取り組みに参画したのち、福岡県添田町で開催される「早生樹センダン記念植樹祭」に3年連続で参加しています。今後も、木材サプライチェーンの川上から川下を繋ぎ、地元と一体となって持続可能な産業や環境負荷低減への貢献を目指していきます。



センダンの苗木100本を植樹



調達基本方針・調達基準を社内外へ周知

プラスグループの調達に関する取り組み

プラスグループは、企業理念「新しい価値で、新しい満足を。」のもと、社会的課題の解決に真摯に取り組む、さまざまなステークホルダーの期待や要望に応え、社会から信頼され、尊敬され、愛される企業を目指し、グループ一体となってサステナビリティ活動を推進しています。2016年、お客様に安全・安心で環境や社会にも配慮された商品・サービスをお届けするため、お取引先様とともにサステナビリティの推進に取り組んでいくための基本となる「プラスグループ調達基本方針」を制定。2024年、プラス株式会社の主要調達先である海外工場3社より、人権

デュー・ディリジェンスを含むサステナブル調達調査を開始しました。引き続きお取引先様の協力をいただきながら、調査を継続・拡大していきます。

また、当社グループは、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、当社グループの事業活動によって影響を受けるすべてのステークホルダーの人権を尊重しています。2025年3月には「プラスグループ人権方針」を策定しました(→P.57)。サプライチェーン全体にわたり、人権を尊重した事業活動を徹底していきます。

災害に強いインフラの構築



大規模災害など不測の事態においてもバリューチェーンを寸断せず商品・サービスを提供し、企業としての社会的責任を果たせるよう、事業継続計画(BCP)の整備・見直しを継続的に実施するとともに、安心・安全に貢献する新たな商品・サービスを拡充します。

持続可能な調達・購買、地域の安心・安全への貢献

事業継続計画(BCP)の整備・防災対策の強化

プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニーは、地方自治体の皆様との連携や事業活動を通じて安心な暮らしの実現を目指しています。地域の防疫・災害防止の取り組みに微力ながら貢献するため、幅広い商品ラインナップを活かして、非常時に物

資供給の面から支援する体制を構築しています。今後も地域との連携を深め、非常時における物資供給を通して、地域の活性化と持続可能な発展に貢献していきます。

【災害協定】愛知県名古屋市「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」

2023年11月、愛知県名古屋市との間で締結された本協定は、名古屋市域内で地震・津波・大雨等による災害が発生、または発生するおそれがある場合、名古屋市からの要請を受け、迅速かつ円滑に物資等の供給を行うことについて定めたものです。

2015年に愛知県大府市内に物流拠点「ジョイントテックス中部センター」を開設し、愛知県および近隣8県(岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県)への配送を行っています。

同センターでは避難所生活で必要となる簡易トイレや非常食などの緊急物資、衛生用品、乾電池などの生活必需品も豊富に保管しており、今回の名古屋市との協定締結による災害時の物資調達の供給拠点となります。

上記のほか、災害協定を締結している中央省庁・地方公共団体(2025年1月時点)

愛知県大府市・春日井市・東海市・豊明市、茨城県小美玉市、大阪府大阪市・河内町、鹿児島県志布志市、京都府八幡市、熊本県嘉島町、群馬県上野村・玉村町、国土交通省中部地方整備局、埼玉県草加市、静岡県磐田市・湖西市・島田市・牧之原市、千葉県、千葉県千葉市、東京都杉並区、栃木県さくら市、長野県須坂市、奈良県香芝市、宮城県岩沼市

【防疫協定】宮城県「家畜伝染病の発生時における緊急防疫業務の物資の供給に関する協定」

2022年12月、宮城県と「家畜伝染病の発生時における緊急防疫業務の物資の供給に関する協定」を締結しました。

宮城県内で高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生、または発生するおそれがある場合に、宮城県と協力し、ブルーシートやゴム長靴など緊急支援物品を提供し、初期の迅速対応の充実に支援します。緊急時対応可能物品として、文具事務用品、衛生用品、生活用品、作業用品を宮城県岩沼市の物流拠点「ジョイントテックス東北センター」(2022年8月開設)に保管しています。また全国に5か所の物流センターを保有し、緊急事態でも他のエリアからの商品供給ができる体制を構築しています。

上記のほか、防疫協定を締結している地方公共団体(2025年1月時点)

愛媛県、広島県

避難生活における「生活の質」の維持・向上

プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニーでは、2017年より、防災・BCP対策用品に特化したカタログ「危機対策のキホン」を発行してきました。2024年9月には、アウトドアブランド「LOGOS」を展開するロゴスコアレーションと連携し、小冊子「災害時にも大活躍!のアウトドアグッズ特集」を発刊、商品販売を開始しました。

本冊子では、巨大地震や水害被害によって避難生活を余儀

なくされた際にも生活の質を保つ役割を果たすテントや簡易ベッド、マットに加え、停電・断水時にあると便利なランタンや給水タンク、洗濯袋などを掲載。法人顧客や自治体などに向けて、機能性や実用性の高いアウトドアグッズを避難生活用品として取り入れる価値を提案しています。

「防災×アウトドア」という新しい視点を広くお客様へお伝えすることで、災害対策の強化に貢献していきます。